

2022-23 年度 RI 会長 ジェニファー・ジョーンズ (カナダ: ウィンザー・ローズランド RC) 第 2820 地区ガバナー大野治夫 (つくば学園 RC)

国際ロータリー 第2820地区(茨城) 第1分区 日立港ロータリークラブ週報



2022. 9. 15
第 207 回例会

会長 山口憲生 会長I/O 鈴木崇久 幹事 佐藤泰子

- 事務局 日立市大みか町 2-28-5 渚会館 TEL 0294-53-6411
- 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
- 例会場 美かの 日立市大みか町 6-14-12



9月は基本的教育と
識字率向上月間です

会長挨拶 山口憲生 会長



9月10日(土)、日立市美術展覧会(11日(日)~18日(日))オープンニングセレモニーに会長として出席し、日立港ロータリークラブ賞(3部門)の表彰状授与を行いました。市内のロータリークラブごとに賞が設けられています。これもロータリー公共イメージの向上に資することではないかと思えます。当クラブ関係者では、書道で小松弘二会員の文子夫人が奨励賞受賞、写真で太田秀夫会員、滝田敦元会員の出展がありました。観覧中、書道展のリーダーさんから、「書初め展(小学生)も再開するのでよろしく」との挨拶を受けました。たとえ少額の協賛金でもロータリーに感謝していただいていることを感じた次第です。

さて、本日は IAC から活動報告がありますが、年次大会はホスト校としてご苦労様でした。早速その報告書(web版)をいただき、参加各 IAC からの平和への思いを読ませていただいたのですが、太平洋戦争直後生まれの私たち世代(現在 70 歳代)の、歌に「戦争を知らない子供たち」(1971年杉田二郎歌)にあるような感じ方に比べ、今回ロシアのウクライナ侵攻当事者から直に話を聞いたインターアクターたちの感じ方に、その今日性を想わずにいられません。

国際ロータリーは平和を理念に掲げ国際紛争解決人材育成の事業も行っていますが、大戦後の「国際連合憲章」作成にあたって、これには RI のメンバーも参加した事実は忘れられそうですが、国連が現在の国際情勢に本当に力を発揮できていると

思うと考えさせられます。インターアクターたちの思いが今後どのように発展するか、重要なカギのように思います。

以上2つの所感を述べ挨拶とします。



日立港 RC 賞
洋画の部
古跡ふみ子さん
「夏の思い出」

例会報告

開会点鐘 山口憲生 会長
R ソング 「我等の生業」

本日のピジター紹介 今野紀仁 親睦活動委員長

茨城キリスト教学園高等学校
インターアクトクラブ顧問 新井由起様
同 会長 和田 光さん
同 副会長 石井なな美さん
同 副会長 加藤ららさん
ようこそいらっしやいました。

出席報告 山口彰二 SAA

会員数	出席数	出席率
35	21	63.64%
出席免除者数	前回訂正	合計出席率
4(本日2名出席)	12	100.0%

本日の食事メニュー：カツカレー

幹事報告

佐藤泰子 幹事

【受信書簡・メール】

- ・メルボルン国際大会のご案内
- ・9月18日環境保全活動について、大野ガバナーからのメッセージ
- ・ハイライトよねやま270号の送付
- ・第63回日立港まつり結果概要報告
- ・みなみひまわり通信9月号
- ・日立市しいの木学園 寄せ植えプランターの御礼

委員会報告

【情報・広報委員会

糸賀正俊 委員長】

第25回インターアクト年次大会報告書を日立港RCのホームページに掲載しましたのでご覧になってください

ウクライナ支援金の贈呈

第25回インターアクト年次大会時に行った募金の寄付金と年次大会収支の残金合計 67,747円をウクライナ支援金として、IAC 和田光会長に贈呈しました。



本日のプログラム

インターアクトクラブ役員委嘱状伝達式

茨城キリスト教学園高等学校インターアクトクラブ2022-23年度新役員が例会に出席し、山口憲生会長から委嘱状が伝達されました。



会長 2年 和田 光さん



副会長 2年
伊藤なな美さん



副会長 2年 加藤ららさん

インターアクト年次大会報告



IAC 会長 2年 和田 光さん

今大会のテーマは「World Peace Begins with Us ~世界の平和は私たちから~」でした。当日は、部員みんなが受付や誘導案内といった係に務めました。開会式では、私も所属している本校ハンドベル部が「Make me a channel of your peace」という、平和の祈りが込められた曲を演奏しました。

大会のテーマである「平和」にふさわしいと思い、この曲を選びました。今回の演奏はハンドベルだけでなく、ヴァイオリンやトーンチャイムといった楽器も加わって演奏しました。私はインターアクトクラブとハンドベル部との両立で、大変なところもありましたが、とても貴重な体験ができました。

閉会式のホスト校挨拶は、私が務めました。元々私は人前で話すことが苦手で、話す際はいつも手が震えるほど緊張していました。しかし、RYLAセミナーへの参加や活動報告を様々な会合でする機会を通して、少しずつ緊張することがなくなっていきました。今回の挨拶では、緊張することなく、大会に参加していただいた皆さまに感謝の気持ちと、大会に対する部員一同の思いを伝えることができましたと思っています。改めて、年次大会に参加していただいた皆さま、本当にありがとうございました。

IAC 副会長 2年 加藤 ららさん

私は年次大会で司会を務めさせていただきました。当日は緊張していましたが、開会式のハンドベル部の皆さんの素敵な演奏のおかげで落ち着いて進める事ができました。

基調講演では、ウクライナ出身で本学園の大学講師のジャブコ先生や、留学生のマルタさんをお迎えして、貴重なお話を頂きました。今世界で起きている、悲劇について改めて考えさせられる機会となりました。また、講演終了後には、本学園が行なっているウクライナ人留学生の経済支援の

募金箱を設置しました。

午後には、異文化プレゼンテーションがあり、普段聞くことのできない様々な国の文化について触れる楽しい時間を過ごしました。

たくさんの方々に協力していただいたおかげで、無事に年次大会を終えることが出来ました。これからもインターアクトの活動に力を入れて頑張っていきたいです。

IAC 副会長 2年 石井 なな美さん

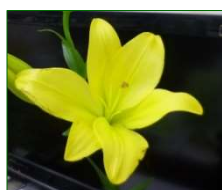
私は年次大会の午後のプレゼンテーションで、司会を務めました。Toward World Peace :The First Steps ~異文化理解への第一歩~と題して、さまざまな外国人講師の方々から自国の紹介をしていただきました。タイトルの通り、この講義の目的は来ていただいた皆さんに異文化を知っていただき、交流の第一歩を踏み出していただくことでした。ですので、それをどのような進行によって成すかというのが大きなプレッシャーでした。

ですが日々の練習の中でもよく考え、先生や会長達からもアドバイスをいただいたおかげで本番では、聞いていただいている皆さんにこちら側の意図を上手く伝えることができたと思います。終始大きなトラブルもなく講師の方々にお話ししていただくことができました。また、本番で多少の変更もありましたが、普段からの準備によって臨機応変に対応できて本当によかったです。

失敗することが多い私は司会が決まった時からミスをしないかとずっと心配していました。この成功は私にとっていい経験になると同時に今後の自信にも繋がったと思います。



今週の会場の花
 “黄色のスカシユリ”
 花言葉：注目を浴びる



閉会点鐘 山口憲生 会長

～未来への希望～地球環境保全プロジェクト



8月1日から環境保全フォトコンテストが始まりました

地球環境保全

フォトコンテスト

みなさまからの
ご応募お待ちしております

募集期間 2022年8月1日~10月31日

「環境保全プロジェクト」を通じ、環境保全に対する取り組みの様子を写真で応募して頂きます。その取り組みを誰でも閲覧できるようにすることで、世界中の環境に対する取り組みを知ることができ、更なる環境保全に対する取り組みや活動の一助とします。

また環境保全に対する取り組みをフォトコンテストという形で視覚化し、現実、活動の大切さ、環境の恩恵、未来への希望といった流れを知る事、考える事ができます。これらの写真を通じて多くの人が身近な環境保全に意識を持っていただくことを目的とします。その流れを通じて、世界中の環境保全活動に寄与できます。

対象の画像は全世界での活動、受付日より過去1年以内の環境美化活動の写真とします。

環境保全活動の開催場所は問わず、海岸・湖沼・山岳・道路などで行った環境保全活動の写真を応募するものとします。また、ロータリクラブからの応募は9月18日のロータリー奉仕デーに活動した内容が望ましく「美しい自然環境」を、ご自分の身近なところから、あなたが守りたいと思う場所を写真に撮って応募して下さい。

地球環境保全プロジェクト
ホームページ
<https://www.rid2820.com/>

募集期間終了後、審査なる審査を行い、優秀作品には賞金がもらえます

ガバナー賞	賞金 10万円 (1作品)
直前ガバナー賞	賞金 5万円 (3作品)
ガバナー補佐賞	賞金 1万円 (8作品)

主催：国際ロータリー第2820地区環境保全フォトコンテスト実行委員会
実行委員長：高田 穂美
お問い合わせにつきましてはホームページのお問合せフォームからお願いします

ガバナーメッセージ

「基本的教育と識字率向上月間」によせて
2820 地区ガバナー 大野治夫

日本においては識字率と言ってもあまり関心がないのではと思います。なぜなら日本の識字率はほぼ 100 %です。日本人にとって、読み書きは呼吸と同じくらい自然な行為に思えても世界には教育の機会に恵まれない人びとが大勢います。子供たちが基本的な教育を受けられず、成人が十分に読み書きできない国や地域があります。そうした地域で基本的教育を提供し、識字率を上げれば、

そのほかの諸問題の解決(貧困の削減、健康状態の改善、地域社会との経済発展、平和の構築など)の糸口をつかむことができます。

「基本的教育と識字率向上」はロータリーの7つの重点分野の一つとなっています。教育の男女差が縮まっていますが、中東、南、西アジア、サハラ以南のアフリカといった地域では、まだまだ格差が見られます。これらの地域で女子生徒が少ない、主な理由は次の様なことです。女性の社会的立場が弱い、経済的理由、長距離通学の為安全上の問題がある。学校に十分な衛生施設(トイレ)がない。女子への教育は地域社会全体の発展につながる一方で、女子が男子と同等の教育を受けなかった場合、年間で10億ドル以上の経済損失があると推定されます。

国連の持続可能な開発目標では、2030年までに全世界の子どもが無料で公平かつ質の高い小・中学校教育を修了できるようにすることを目指しています。すべての子どもに初等教育を提供するには世界で160万人の教員が必要です。(その3分の1はサハラ以南アフリカが必要)また現職の教員のスキルを伸ばすことも重要な課題となります。

2000年以来、読み書きのできない成人の数は減少しつつあります。しかし、世界の非識字率人口は7億8100万人(世界の成人人口の15パーセント)、その3分の2近くが女性となっています。

しかも、学校に通っていない子供は世界に6700万人いると言われていています。地域社会が自力で学校を支え、教育における性差別を減らし、成人の識字率を高められるように支援することが、私たちの目標です。

2022.9月号 ガバナー月信

その他のお知らせ・連絡事項

★★ 行事の申込受付案内 ★★

- ◆ 日立港 RC 秋の休日親睦ゴルフコンペ
10月10日(月祝) グランドスラム CC
 - ◆ 地域ボランティア・優良従業員表彰
10月27日(木) 12:15~ 美かの
締め切り 10月13日(木)
- ご出欠の申込みは、例会場受付または
電話・メールにて事務局まで!!!

今後のスケジュールのご案内

9月29日(木) 休会

10月6日(木) 12:30~ 美かの

「外部卓話 みなみひまわり学園

管理者 萩谷亜希子様」

編集後記

職場の窓の外、構内の芝刈りを眺めながら、ドイツ駐在時代のある光景を思い出していた。赴任当初、アパート選びに疲れ果て、「もうここでいいや」と決めた住居はやや広めの庭のあるラインハウス(長屋)だった。両隣は休日毎に庭でお食事。家の契約上、庭の手入れが必要であったが、私は両隣のお庭ランチとの遭遇に尻込みし、自分の家の“お庭デビュー”が出来ずにいた。庭の芝は伸び放題である。ある土曜日、外は静かだ。今しかない初めての庭の芝刈りに挑んだ。「ああ、もう出てきた・・・」30秒も経っていない。右隣のおばさんがハワイのムームーの様な家着のまま庭に出てきた。「やっとやる気になったのね。しっかり綺麗にきなさいよ。」と言わんばかりに腕を組んで仁王立ちでこちらを見ている。指先には煙草、煙の線が上がっている。取り敢えず「グッモーゲン」挨拶をしたその時、芝刈り機が止まった。嫌な臭いもする。芝が伸びすぎて、機械に絡まって動かない。「あーあー、何やってんのよ(笑)」そんな様な事を言われた気がした。そしておもむろにご主人が登場。「ウチの芝刈り機使いなよ」と大型の機械を貸してくれた。何とか芝を刈り終え、芝刈り機を返却する時、おばさんは優しい表情で「何かあったら言えればいいのよ」みたいな事を言ってくれた。実は“何か”あったがそれは言えなかった。「ムームーの中見えてますよ。」とは。ドイツ人は隣人に優しい。そしておおらかだった。Enjoy life... (か)

発行：日立港ロータリークラブ(翌例会日)

編集：会報・雑誌委員会

神山靖基 木村昌栄 五来美奈

平田伸一 中野紀子(事務局)

URL: <http://www.hitachi-ko-rc.com>

E-mail: info@hitachi-ko-rc.com